

第2回 袋川緑地サクラ管理計画策定協議会 議事録（概要）

日 時：令和5年12月26日（火）（14：00～15：30）

場 所：鳥取市役所 多目的室1

出席者：委員7名

永松委員、甲田委員、谷尾委員、粟嶋委員、清末委員、岡委員、川端委員

1. 開会

2. 事務局より、第1回協議会における意見集約報告について報告。

【質疑応答】

（清末委員）袋川の土手を広げることは可能か？

→（事務局）土手横は市道なので拡幅は難しい。

（清末委員）河川内の植栽（土手の花壇と思われる）を無くしてはどうか？

→（事務局）道路は計画する余地はある。また、河川の花壇は検討の余地がある。

（粟嶋委員）多自然型川づくりにより生物が住める河川にしたい。

（谷尾委員）資料内の判定は誰が行ったか教えてほしい。

→・判定は事務局（津茂谷主幹）が行った。

・サクラの咲き具合はサクラの開花時期に事務局が行った。

・判定は1本毎ではなく橋梁間の区間で全体的に行った。

（永松委員）鳥取大の学生がサクラの判定を実施している。実施結果は本日提示できないが、概ね今回の判定と同じである。今後、整理が出来たら協議会で提示する予定である。

（甲田委員）サクラの判定のB→Cへの移行はどのくらいの期間で推移するのか？

（谷尾委員）国土交通省の基準を用いて判定を行っている。どのくらいの期間でB→Cへ移行するかは難しい。サクラの植え替え時期はこの判定が基準となる。

4. 資料3の説明（事務局）

（永松委員）今後の管理計画に生かす意見をお願いします。

（谷尾委員）弱ったサクラをどう生かすか？造園協会でも植え替えかそのまま生かすかは平行線で意見が分かれる。関東では早くにサクラを植えているため、サクラの寿命も他地域より早く来る。ソメイヨシノの管理方法が現時点で確立できていない。今のまま残すのであれば、土壌入替、歩道舗装をやめる等の方法が考えられる。また、植え替えの場合は新しいサクラに対する管理計画が必要となる。極力現在のサクラを残すことが望ましいと考える。

（粟嶋委員）土手の歩道のコンクリートを無くして土にしてはどうか。また、植樹（花壇）を撤去して土手を広げてはどうか（3-5写真）。

久松山とサクラが見えるポイントがある。若桜橋～智頭橋など、ポイントを考えた整備を考えてはどうか。

- (永松委員) 土手の構造物の整理、土手の拡幅、歩道の整理、電線は無電柱化が望ましい。全体的な整備プランが必要ではないか。
- (谷尾委員) 袋川の電線は低い位置にあるため、枝と干渉し、問題があると考えます。
- (岡委員) 公園管理者としては、倒壊の恐れ等を考え、サクラ1本毎の空洞化などの調査が必要と考える。将来的には市役所の人も点検が出来るようになれば良いと考える。
- (川端委員) 歩道舗装について、土舗装とバリアフリーの両立は難しいと考える。例えばデッキを作る等すれば効果はあるが、コストが高くなる。
サクラの根が歩道のすぐ横にある場合、歩道を広げても解決しないのではないかと。
- (永松委員) すべての問題は解決しないかもしれない。目黒区の事例ではサクラの間隔を5mから8m～10mにするようにしている。植え替え時に間隔が少しでも広がるように対応することが望ましいのではないかと考える。
- (谷尾委員) サクラの間隔(ピッチ)が狭いため、間引くことも必要かと考える。また、サクラの樹形が袋川のほうへ向いていて道路側は枝が切っている状況である。沿線住民は落葉と花びらの対応が大変であると考えます。
- (清末委員) サクラの枝を切った後、タールを塗っていない。木の状況にあった対応をする必要がある。
各町内会でサクラの保全に関する話をしているのか? もっと地域の人にも参加してもらってはどうか。例えば都市計画の人等呼んで教育するとか。
- (粟嶋委員) 智頭橋～若桜橋はサクラを全部撤去し、1本ずつ植えてみてはどうか。
地域の人巻きこめば苦情も減るのではないかと。
公民館活動(ワークショップ)に参加してはどうか。会議に自治会を組み込むのも良い。ただしその前に基礎データをきちっと整理する必要がある。
- (永松委員) 袋川のサクラに関するアンケートは実施するのか?
- (事務局) 協議会での意見を踏まえたアンケートの実施を考えている。
- (清末委員) 袋川のサクラは歴史がある。これを分かった上でサクラをどうするか考えてほしい。
- (谷尾委員) アンケートに自治会は参加しないのか?
- (事務局) 今後検討する。
- (川端委員) 周辺自治会は落葉、ごみの処理などが大変である。外部から花見に来る人はサクラを残してほしいと言うだろう。
- (粟嶋委員) 歩道のコンクリートブロックを撤去してほしい。段差を生み、歩行時につまずいたりするためどうかしてほしい。

(事務局) 何らかの案を考える。

次回の協議会は3月を予定している。

以上